

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 ―「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える―

開催地： 大分

グループ：

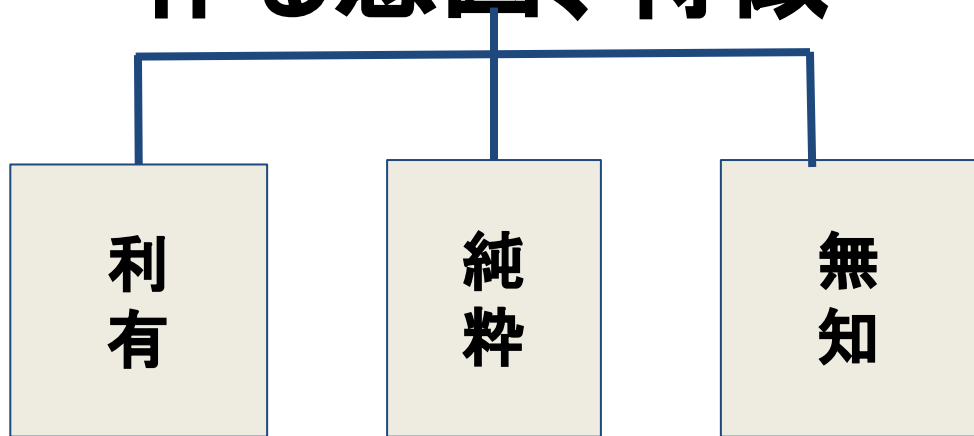
5班

2024.7.27

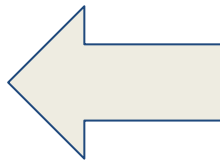
目には目、歯に歯、
テクノロジーにはテクノロジー



作る意図、特徴



- 混乱
- 承認欲求
- お金

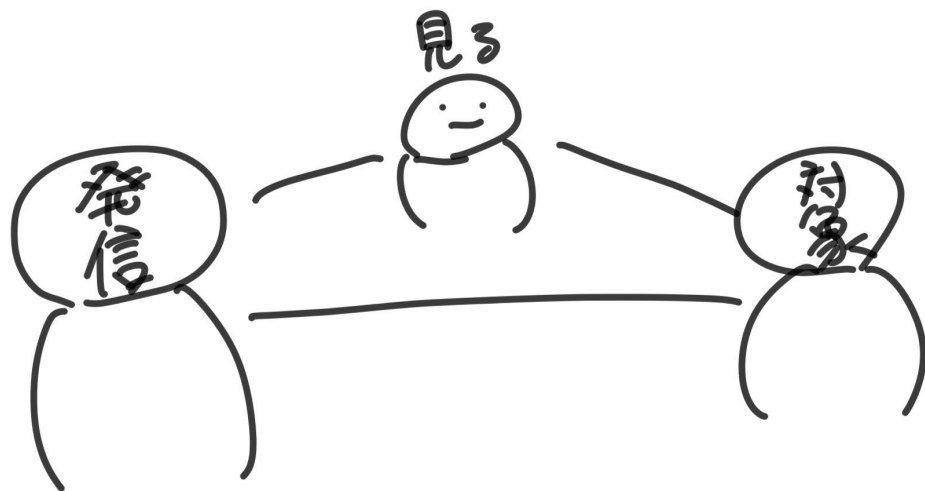


損を受ける人がいる

損を受ける人

ケース次第で、損を被る人は多岐にわたる。

- 発信する側
- 見てる側
- 対象になる側

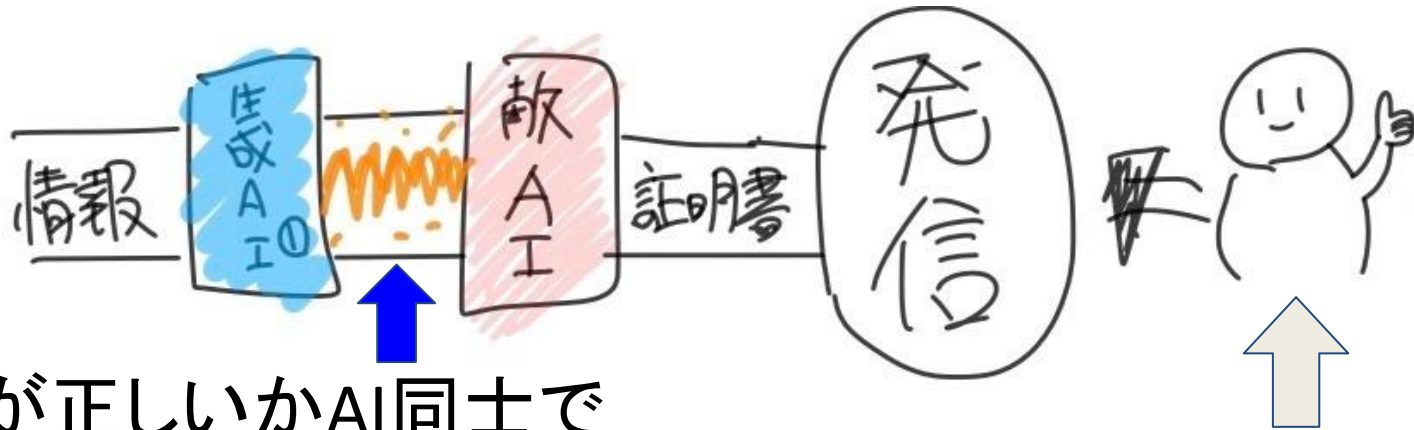


この人には

自分を守る権利がある

提言

生成AIが出力する答えを別の AIで確認し、
さらに証明書を発行する



情報が正しいかAI同士で
確認し合う

あとは人力で判断！